

次期総合計画の策定に係る各種審議会や委員会でいただいた御意見の概要

1 会の名称

平成 30 年 8 月岩手県教育委員会定例会終了後の協議等

2 県側出席者

教育委員会事務局

政策地域部政策推進室

3 開催日時

平成 30 年 8 月 20 日（月）14：25～15：05

4 主な御意見の概要

○ 理念に関すること

- ・ 理念の時代的背景に「物質的な豊かさだけでない豊かさ、つまり心の豊かさや」とあるが、物の豊かさはあきらめて、心という内面的な豊かさだけを追求するように捉えられそうでまずいと思う。心の豊かさを求めていこうということのみとなると、精神論を鍛えろとなってしまう。幸福度の指標を掲げて取り組んでいこうとしているので、物と心という対比に見えるような表現はもったいない。工夫した方が良い。
- ・ 「幸福と持続可能性」について、持続可能な社会を岩手から広げていくというのは、どういう意図があるか。他県が行っていないから岩手から始めるということか。
- ・ スローガンではないが、計画を端的に表す言葉があると良いと思う。

○ 計画期間に関すること

- ・ 首長の任期と異なる計画期間では責任が持てないのではないかと意見があるが、任期に合わせる必要はないと思う。確かにマニフェストサイクルという言い方は、選挙公約を実現するサイクルと捉えられかねないが、マニフェストを生かすという点はあるが、総合計画の期間は任期とは別物で良いと思う。計画はいつでも見直すことが可能であるし、首長が変わっても取り組む必要のある現時点の県政課題を整理し、対応を打ち出していくものなので問題ないと思う。